

「すごいゴミのはなし」  
ゴミ清掃員さん10年  
間やってみたらー

他人ごとから自分ごとへ

小学三年 金井花奈

正直なことをいうと、わたしはゴミ収集車  
がぎらいでした。あんなくさい車ではたらく  
なんて、収集車に乗っている人はカスマスク  
でもしているんじゃないかと思っ  
てしまいうくらいに、おいが苦手  
でした。それが、この本を  
読んで大きく変わりました。

本の中で、作者の滝沢さんが小学生に何回  
も「くさいー」といわれて悲しくなっ  
たというところを書いていました。わたしも  
ゴミ収集車を見かけると、鼻をつまんで、  
「くさい」と言っていたので、その部分  
を読んだときがクッとしてしまいま  
した。ゴミ収集車の人かどう思  
うかを考えていませんでした。  
また、小学生に「きさいのでやめて  
くださいー」というたえかけられ  
た滝沢さんが、「なんでくさいと思  
う？」と話しかけたことが

書かれています。ゴミがくさい原因は、捨てる人がゴミの水分をしぼらないことで生まれる「ゴミ汁」でした。においは、ゴミ収集車ではなく、ゴミをあてる箇所たちの出した「ゴミ汁」のせいでした。ゴミのにおいは他人ゴミではなく自分ごとだったことに驚きました。

本の中でもう一つへええ！と思ったところがありました。それは、ゴミ収集車一台に入るゴミの量は2トン、メスのマジアソウ一頭

分と同じという事です。ゴミ収集車は一日六回もゴミ収集を行うので、一日にマジアソウ六頭分のゴミを集めることになります。ゴミの日、町を何台もゴミ収集車を見かけます。それそれ一台ずつが、一頭分のマジアソウの重さのゴミを集めているなんて、わたしたちはゴミを多く出すかかっているかと思いましたが、最近、わたしの住んでいる東京のゴミ日最終処分場があると数十年でうまってしまうというニュースを見ました。それを聞いてわたしは

思っただよりもずっとはやく、処分場も使えな  
 くなるということ。頭がいつぱいになりました  
 た。

わたしは大人ではないので、ゴミをへらす  
 ために、大きなことはできません。でも、毎  
 日のごはん巻のこさず食べたり、身の回りの  
 ものを大切に使ったりすること、少しずつ  
 ゴミをへらすことはできそうです。また、今  
 回ゴミについての本を読んだことで、環境が  
 ゴミについて考えられるようになりました。

だから、これから環境についての本を読ん  
 だり、ニュースを見たりして、知しきを増や  
 していきたいです。